

あおしんのCSR活動

あおしんは、お客さまからの大切な預金を主に貸出金として地域の皆さまに円滑に供給するという金融機関本来の役割に加え、地域との協調・連携を一層強化し、地域社会の持続的な発展(共存同栄)に努めています。

あおしんの経済的・社会的・環境的な各種活動を、「地域」「お客さま」「職員」という3つの視点から紹介します。



あおしんと地域

金融機能を通じた地域貢献

地域の皆さまからお預かりした大切な資金を、地域で資金を必要とされるお客さまに円滑にご融資するという金融機関本来の役割を果たすことで地域のお役に立っています。

●お客さまからの預金積金、預り資産

お客さまへの感謝の気持ちを込めて、平成26年度も金利優遇定期を販売しました。定期預金は2回にわたり基準金利を3倍にするキャンペーンを実施し、定期積金は平成26年度を通して基準金利を3倍にするキャンペーンを実施しました。

その結果、平成26年度も皆さまからの厚いご支持をいただき、預金積金残高は前年度と比べて93億円増加し、7,339億円となりました。これからも地域の皆さまにとって魅力ある商品を提供し、さらなるご支持をいただけるよう努めます。

また、預り資産残高は、一時払終身保険を中心に前年度と比べて35億円増加し、614億円となりました。なお、預り資産は、個人年金保険、一時払終身保険、個人向け国債、投資信託で構成されています。残高推移等の詳細につきましては、20ページをご覧ください。

●お客さまへのご融資

小口多数を融資の基本方針とし、特定業種に偏らないバランスのとれたご融資に努めています。

事業者さまには、課題解決に向けたご融資を推進し、「地域活性化ローン」を中心にご利用いただきました。

個人のお客さまには、ライフサイクルに必要な資金を「個人ローン」でご利用いただくことをご提案しました。特に教育・マイカー・リフォーム資金については特別キャンペーンを実施し、お取扱金利を引き下げ、多くのお客さまにご利用いただきました。また、いざという時に役立つカードローンもお勧めしました。

残高推移等の詳細につきましては、21ページをご覧ください。



地域社会への貢献活動

信用金庫は、会員や地域の皆さまに金融機能を通じ、社会的・公共的使命を果たすことで貢献してきました。あおしんでは、CSR（企業の社会的責任）に力を注ぎ、創業以来、地域に密着し地域やお客さまと信頼関係を構築してきました。

●青梅マラソン大会の運営協力

毎年多くの市民ランナーが参加する歴史のある青梅マラソン大会は、平成27年2月15日開催の第49回大会も1万9千人ものランナーが参加する大きな大会となりました。

あおしんでは、昭和55年の第14回大会より、毎年約200人の職員がボランティアスタッフとして、ランナーの皆さまの受付に係わる全ての作業をおこなっています。地域に親しまれるあおしんを目指し、日ごろの業務と同様に、当日は元気な挨拶、明るい笑顔でランナーの皆さまをお迎えました。



トラックから、ゼッケンやTシャツを運び、受付でランナーの皆さまをお迎えました。



大会前日は、あおしん提供のトークショーを開催。高橋尚子氏、エリック・ワイナイナ氏をゲストに迎え、大盛況となりました。

●あおしん地域文化振興基金助成金を贈呈

小・中学生の文化・体育・スポーツの振興を通じて地域社会に貢献することを目的として、平成4年に「あおしん地域文化振興基金」を設立し、毎年23市町村に助成金を贈呈しています。24年目を迎えた平成27年も助成金と小中学校等で行事や災害時に使用するテントを贈呈し、開始以来の助成総額は3億5千万円、テント総数は147張りとなりました。



●金融経済教育への取り組み

将来を担う子どもたちが、会社の起業、事業計画の策定、資金調達、商品の仕入・販売、収支決算の体験を通じて、お金の大切さを楽しく学ぶこと、経済的な自立意識を醸成することを目的に、小学生を対象とした「あおしんキッズ・アカデミー」を毎年開催しています。平成26年11月1日開催の第6回あおしんキッズ・アカデミーでは、作成した事業計画に基づいて販売目標を策定し、実際に青森県産のりんごなどを販売しました。開始から1時間あまりで、用意した商品をすべて完売し、見事販売目標を達成することができました。

また、今年度は、公益社団法人青梅法人会が新たに協力団体として参加され、税金の仕組み等を対話形式でやさしく説明していただきました。

今後も、子どもたちに経済へ興味をもつ機会を提供するため、開催を続けていきます。



●美しい多摩川フォーラムへの応援活動

あおしんは、美しい多摩川フォーラム（事務局は当金庫）への応援活動を通じ、官民広域連携による地域づくり運動を実施しています。詳しい活動内容については、12～14ページにご紹介しておりますのでご覧ください。また、東日本大震災復興支援のため、美しい多摩川フォーラム等を母体に設立した東北・夢の桜街道推進協議会の事務局としても、官民広域連携・協働推進による「東北・夢の桜街道運動」を通じた「交流人口増加」策により、被災地である東北の地域経済の活性化に努めています。



環境への取り組み

●LED照明の導入

平成26年度は東村山支店、河辺支店、中町支店、狭山支店、羽村支店、小平支店、松中支店の7店舗において、お客さまにご利用いただくロビーの照明をLED照明に切り替えました。今後も環境への負担を軽減するために導入を進めていきます。



●創立記念日の清掃活動

あおしん創立記念日の3月6日、地域のためにできることを考え、青梅市内5店舗における早朝の清掃活動を実施しました。店舗周辺はもちろんのこと、店舗によっては駅までの道など広い範囲にわたり多くのゴミを拾い集めました。今後もこの活動を定期的の実施していきます。



環境理念

青梅信用金庫は、創業の精神である共存同栄の主旨に則り、自然に恵まれたこの地域の環境を守り、地域の産業と文化の発展に寄与し、人々の豊かなくらしの実現のために、全役員で環境保全活動に取り組んでまいります。

環境方針

- 環境に関する法令等を遵守し、環境保全活動に取り組めます。
- 役員全員の環境問題への意識向上に努めます。
- 環境保全に積極的に取り組んでいるお客様を支援するために金融サービスや環境に関する情報提供に努めます。
- 環境への負荷の軽減を目指し、省資源・省エネルギー対策の推進に努めます。
- 環境問題に対する取り組みについて、ディスクロージャー誌、ホームページ等を通じて、一般に公表し地域社会との環境コミュニケーションの確立に努めます。
- 美しい多摩川フォーラムを通じ、環境に配慮した地域づくりの旗振り役として、地域貢献活動に積極的に参画します。





地域金融円滑化の取り組み

あおしんは、これまで同様「地域金融円滑化のための基本方針（中小企業者ならびに住宅資金借入者からの相談申込みがあった場合の当金庫の基本方針です。）」に則り、中小企業・個人事業主のお客さまからのご返済、経営に関するご相談や、住宅ローン返済の見直しに関するご相談窓口を全店に設けています。

1. 取組み方針

- (1) 当金庫は、「共存同栄」の精神のもと創業いたしました。その理念に基づき、地域の中小企業及び個人のお客様に安定した資金を提供していきます。
- (2) 当金庫は、お客様からの資金需要やご返済に関するご相談、またご返済条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様に真摯に取り組んでまいります。
- (3) 当金庫は、お客様の抱える悩み・問題の解決に向けてサポートいたします。

2. 金融円滑化措置の円滑な実施に向けた態勢整備

当金庫は、上記取組み方針を円滑に実施するため、以下のとおり、必要な態勢整備を図っております。

- (1) 金融円滑化推進会議及び金融円滑化対応連絡会の設置
理事長を中心に常勤役員・部長で構成される金融円滑化推進会議を設置し、取組み方針の実現に向けた協議・決定を行い、金融円滑化を推進してまいります。
また当会議で決定された方針を全店で強力に実施するため、実務を担当する金融円滑化対応連絡会を設置し、金融円滑化の推進に努めております。
金融円滑化管理責任者：企業支援部担当役員
金融円滑化対応連絡会メンバー：企業支援部(主管部)、融資部、営業推進部等より構成
- (2) お客様へのきめ細やかなサポート体制
 - ①各営業店に金融円滑化対応責任者を配置し、全店舗に「事業資金・住宅ローンご返済相談窓口」を設置いたしました。
 - ②当金庫職員による経営改善計画書作成支援や作成後

の相談支援に取り組んでおります。

- ③経験豊富な職員により経営相談に取り組んでおります。
- ④「財務診断サービス」によるお客様の財務内容の改善提案を行っております。

3. 他の金融機関等との緊密な連携について

当金庫は、複数の金融機関から借入れを行っているお客様からご返済条件の変更等の申し出があった場合には、他の金融機関や信用保証協会等との緊密な連携を図って対応いたします。なお、その際には守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認・照会を行うなど、緊密な連携を図りながらお客様の資金繰りや金融の円滑化に努めてまいります。

4. ご相談窓口

- (1) ご返済に関する相談窓口(全店舗及びフリーダイヤル共に、土日祝日及び年末年始の休業日は除く)
 - ①全店舗にて受付 受付時間 9時～15時(営業時間外でも17時まで各営業店にて電話で受付いたします)
 - ②フリーダイヤル0120-60-1130 受付時間 9時～17時
 - ③ご相談内容 中小企業・個人事業主のお客さま・住宅ローンご利用の個人のお客さまからのご融資に関する各種ご相談(ご返済・ご返済条件等に関するご相談、経営全般に関するご相談等)
- (2) ご返済条件の変更等に関する苦情相談については、各営業店副支店長または次の相談窓口をご利用下さい。
青梅信用金庫 お客様相談室
専用電話0120-00-2085 受付時間 平日9時～17時

貸付条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の件数および金額

●債務者が中小企業事業者(法人・個人事業者)である場合

(単位:件、百万円)

事業資金	平成26年3月末		平成27年3月末	
	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	9,135	147,346	10,747	173,098
うち、実行に係る貸付債権	8,462	139,334	10,059	165,499
うち、謝絶に係る貸付債権	221	2,516	255	2,819
うち、審査中の貸付債権	120	2,150	75	1,266
うち、取下げに係る貸付債権	332	3,345	358	3,512

●債務者が住宅資金借入者である場合

(単位:件、百万円)

住宅資金	平成26年3月末		平成27年3月末	
	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	436	6,563	475	7,087
うち、実行に係る貸付債権	333	5,041	368	5,515
うち、謝絶に係る貸付債権	55	736	59	821
うち、審査中の貸付債権	5	121	3	60
うち、取下げに係る貸付債権	43	663	45	689

あおしんとお客さま

お客さまへの支援活動

いつでもご相談できる体制で、事業のライフステージに応じた適切な経営支援をおこなっています。

● 中小企業の経営改善への取り組み状況

地域金融の円滑化を図るため、お取引先の経営相談、経営改善、事業再生支援を積極的に展開しています。金融円滑化対応のため引続き態勢整備を強化し、今年度はより深い支援を図るため経営改善支援取り組み先の見直しをおこない、経営改善支援取り組み先数を317先選定しました。なお、経営改善計画書策定支援を累計1,012先に実施しています。経営改善計画書策定後はモニタリングや決算検討会を実施し改善提案をおこなっています。

経営改善計画書作成支援のため各営業店に経営改善計画書作成リーダーの設置や中小企業再生支援協議会および(株)地域経済活性化支援機構等との連携による再生計画策定支援、日本公認会計士協会による再生計画策定支援、TKC西東京山梨会が提供する「経営改善計画策定支援サービス」をおこなっています。

また、経済産業省のおこなっている「ミラサポ※1」による専門家派遣、信用保証協会の中小企業支援ネットワーク(経営サポート会議)により企業再生に向けて具体的な支援方針を提案していることや国土交通省と「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」に関するパートナー協定締結など外部機関と連携しさまざまな経営改善のための支援活動をおこなっています。

※1 「ミラサポ」とは、中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業をサポートするサイトのことです。

● 経営改善支援の取り組み実績 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:先数)

(単位:%)

	期初 債務者数	うち経営 改善支援 取り組み先数	αのうち期末に 債務者区分が ランクアップした先数	αのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった先数	αのうち 再生計画を 策定した先数	経営改善支援 取り組み率	ランクアップ率	再生計画 策定率	
			β	γ	δ				
	A	α	β	γ	δ	α / A	β / α	δ / α	
正常先 ①	5,706	0		0	0	0.0		0.0	
要注 意先	うちその他要注意先 ②	3,801	188	6	158	184	4.9	3.2	97.9
	うち要管理先 ③	39	17	10	4	16	43.6	58.8	94.1
破綻懸念先 ④	782	112	11	96	104	14.3	9.8	92.9	
実質破綻先 ⑤	215	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
破綻先 ⑥	54	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
小計(②～⑥の計)	4,891	317	27	258	304	6.5	8.5	95.9	
合計	10,597	317	27	258	304	3.0	8.5	95.9	

(注)・本表で使用している率は四捨五入で表示しています。

- ・ 期初債務者数及び債務者区分は平成26年4月当初時点で整理しています。
- ・ 債務者数、経営改善支援取り組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでいません。
- ・ βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。
なお、経営改善支援取り組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めていません。
- ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めています。
- ・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取り組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めておりません。
- ・ γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・ 26年度は「うち経営改善支援取り組み先数」について、より深い支援を図るため、期中に経営改善支援取り組み先の再選定をおこないました。



●コンサルティング機能の発揮状況

経営改善計画書作成支援

当金庫は経営革新等支援機関として各営業店に経営改善計画書作成リーダー1名を配置し、取引先企業の経営改善計画書作成の支援をおこなっています。本部専門部署においても経営改善計画書策定支援や経営相談を実施し、取引先の状況により外部機関や外部専門家と連携を図り改善提案をおこなっています。

事業再生検討会

外部コンサルティング会社の公認会計士による「事業再生検討会」を毎月開催しています。

外部連携機関・外部専門家との連携

◆経済産業省関東経済産業局、国土交通省土地・建設産業局、中小企業再生支援協議会、(株)地域経済活性化支援機構、中小企業支援ネットワーク(経営サポート会議等)、日本公認会計士協会、TKC西東京山梨会、中小企業診断士、公認会計士、税理士、弁護士、経営革新等支援機関等と連携し支援する体制を図っています。

◆公的機関等との連携にてミラサポ、アシストプログラム※2、エキスパート派遣をおこなっています。平成26年度は、経営改善を必要としている先に163回の専門家派遣を実施しました。

●経営相談への取り組み

お取引先企業のさまざまな経営課題の解決支援のためライフステージに応じて、円滑な資金提供はもとより、コンサルティング機能の発揮のため「国土交通省との建設企業のための経営戦略アドバイザー事業パートナー協定」や「中小企業経営力強化支援法」に基づく「経営革新等支援機関」として、財務省関東財務局および経済産業省関東経済産業局から認定を受け、外部機関や外部専門家との連携強化を図り経営相談・経営支援及び問題解決型金融の実践に取り組んでいます。

経営革新等支援

◆ものづくり・商業・サービス革新補助金や創業・第二創業促進補助金をはじめとした、各種補助金の申請を支援する取り組みをおこなっています。

◆経営革新等支援機関(外部専門家)による経営改善計画書策定支援事業を支援しており、同計画作成時も補助金対象となります。

自社株評価サービス

中小企業の事業承継への取り組みを支援するために、決算書の分析による自社株評価サービスを財務診断サービスと共におこなっています。

経営相談会

外部中小企業診断士と当金庫内中小企業診断士との連携による経営相談会を開催し経営改善へ向けての具体的なアドバイス等を実施しています。

上期:26年9月に2店舗で実施

下期:27年2月に2店舗で実施

経営改善計画書・資金繰り表

ホームページにあおしん経営支援ツール(経営改善計画書・資金繰り表)を開示し、中小企業者・小規模事業者が早期に経営改善計画書の作成に利用できるようにしています。

職員の経営支援能力の向上

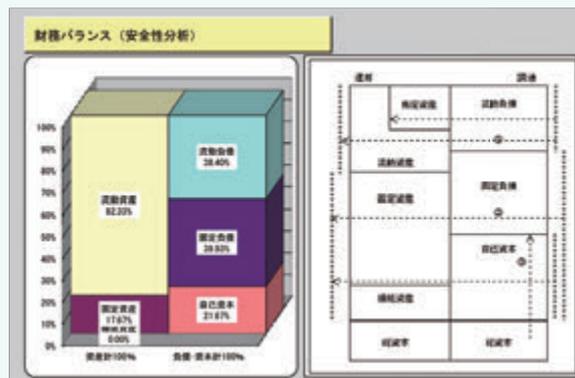
◆事業性評価に基づく経営相談・経営指導能力アップを目的に実践的目利き能力研修を実施し、職員の目利き能力向上を図りました。

◆認定支援機関向け経営改善計画の策定・売上拡大支援研修に職員を参加させ経営支援能力アップを図りました。

※2「アシストプログラム」とは、東京都商工会連合会が、経営革新や事業承継等でお悩みの企業に対し、経営の革新に繋がる事業計画の策定と実行を支援するプログラムのことです。

財務診断サービス

お取引先の経営状況と財務内容の改善を図ることを目的に、財務診断書を作成するサービスをおこなっています。損益計算書・貸借対照表を分析し、キャッシュフロー等の改善点を提案するサービスをあおしん全店で取り組んでいます。平成26年度は、2,133社に財務診断書による提案活動をおこないました。



地域の活性化

●あおしんビジネス支援マッチング大会

新たな企業との出会いをビジネスチャンスにつなげ、地域経済が活性化することを目指して、あおしんビジネス支援マッチング大会を開催しています。多摩地区および埼玉西部地区のお客さまにご参加いただき、出会いの場の提供に止まらず、創業や新事業・新分野進出に向けた第二創業についての相談・商談の機会を連携機関と共に提供しています。

平成26年10月17日に開催した第14回大会では、「つなぐ力で地域活性化」～未来を創る創業・新分野への挑戦～をテーマとして、95社が出展し、306社、720名の方にご参加いただき、充実した商談や相談がおこなわれました。



●多摩の物産&輸入品商談会

多摩とその近隣地域の食品・雑貨・輸入品などを扱う企業の販路拡大等の成長支援や地域経済の活性化を目的として、多摩の物産&輸入品商談会を多摩信用金庫と共同開催しています。

平成26年7月1日、2日の開催では、大手小売店等の招致バイヤー22社とお客さま70社との間で148組の商談がおこなわれ、数多くの販路拡大につながる商談が繰り広げられました。



●たま工業交流展

多摩地域の中小企業が有する個性豊かな技術や製品を一堂に展示し、製品開発力や加工技術等の紹介を通じた受注の拡大、パートナー企業の発掘に向けた情報収集など多摩地域の工業振興に繋がるビジネスチャンスの場を提供することを目的に開催されているたま工業交流展に、当金庫は主催団体として参画しています。

平成27年2月26日、27日の開催では、当金庫のお客さま13社を含む148団体が出展し、6,000名がご来場され、会場内の各ブースでは熱心な製品説明と具体的な商談が繰り広げられました。



ご利用いただきやすい店舗をめざして

お客さまのご意見、ご要望をお聞きし、ご利用いただきやすい店舗づくりやサービスに努めています。

●店舗のバリアフリー化

全てのお客さまに安心してご利用いただける店舗をめざして、バリアフリー化をおこなっています。平成26年度は2店舗の改装をおこないました。金子支店は、出入り口をスロープにし、自動ドアを設置、小平支店は、駐車場側の出入口の段差をなくしました。



●ATM手荷物置台

ATM操作時にお手荷物を置く場所がなく不便との声を頂戴し、全店にATM手荷物置台を設置しました。ATMを両手で円滑に操作していただけることはもちろん、お客さまの大切なお手荷物を目の前に置くことで、盗難や置き忘れ防止の効果も期待されます。※千ヶ瀬支店では、車椅子のお客さまの妨げにならないよう、設置していないATMがあります。



●ATM硬貨入出金取引の取り扱い開始

多くのお客さまのご要望を受け、ATMでの硬貨の入出金取引の取り扱いを開始しました。取扱時間は平日8時～17時、一度の入金枚数は100枚まで、店舗外ATMは対象外と一部制限もありますが、より便利にご利用いただけるATMをご活用ください。



●杖ホルダー

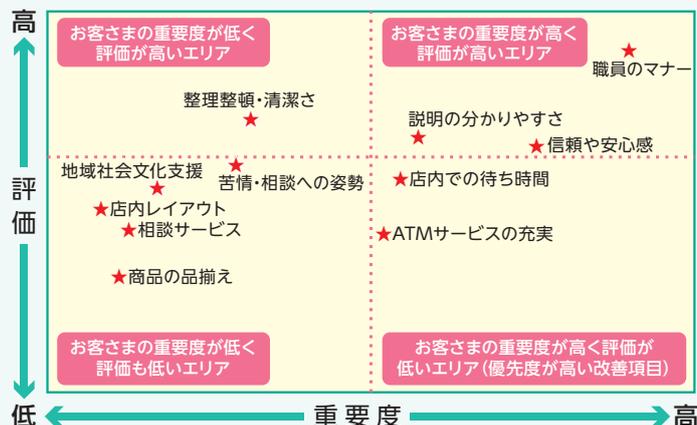
ATMコーナーや記帳台に杖ホルダーを設置しています。杖ホルダーは、ATM操作や記帳台での伝票記入などの際に倒れやすい杖を支える器具です。

お客さまの声をお聞きする取り組み

お客さまの声を反映する取り組みの一環として「店頭アンケート調査」、「お客様の声ポストの設置」、「お客様相談室の設置」をおこない、お客さまからいただきました貴重なご意見・ご要望等を業務運営、商品・サービスの提供方法、営業等に反映させるよう努めています。

●店頭アンケート調査(お客さま満足度アンケート調査)の結果とサービス向上に向けた取り組み

来店されたお客さま3,224人にアンケートのご協力をいただきました。アンケート調査の結果は以下のとおりです。



お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきましたお客さまには、心より御礼申し上げます。
お客さまから寄せられました貴重なご意見・ご要望等は業務運営、商品・サービスの提供、渉外活動等に着実に反映するよう、役職員一同努力してまいります。

あおしんでは、研修体系(人財育成プログラム)を策定し、お客さまにより満足していただけるよう努めています。

職員のマナー

- ・OJT研修等を実施し職員の更なるマナー向上に努めています。

信頼や安心感

- ・円滑な資金提供を徹底し、地域社会への貢献とサービスの向上に努めています。
- ・顧客保護等管理態勢の充実に努め、個人情報適切な取り扱いや反社会的勢力との関係遮断の徹底、振り込め詐欺撲滅運動等を実施しています。
- ・ディスクロージャー誌、HP等により積極的に情報開示をおこなっています。
- ・お客さまの「万が一」に対応するため、269名の職員が「普通救命講習」を受講しています。また、11店舗にAEDを設置しています。
- ・お客さまの抱える課題の解決に向けて各支援活動を実施しています。
あおしんビジネス支援マッチング大会、いつでもマッチングの実施。
当金庫内中小企業診断士による「経営相談会」等の実施。
外部機関・外部専門家との連携による支援体制の整備。
各種補助金の申請を支援する取組みの実施。
経営改善計画書作成支援専任者の配置。



説明の分かりやすさ

- ・お客さまのニーズやライフステージに合わせたご提案を心がけるとともに、分かりやすい説明をおこなうなど、研修等による人材育成に努めています。

店内での待ち時間

- ・お客さまの待ち時間短縮のため、事務処理能力向上に努めています。

ATMサービスの充実

- ・「しんきんゼロネットサービス」で、全国のしんきんATMで入出金無料でご利用いただけます。
※平日 8:45~18:00の入出金、土曜 9:00~14:00の出金
※上記以外の時間帯および日曜・祝休日の場合には所定の手数料が必要です。
※本サービスの対象とならないしんきんATMが一部ございます。
- ・目の不自由な方のために「音声案内付ATM」を設置しています。
- ・お体の不自由な方のために「杖ホルダー」を設置しています。
- ・手荷物置台を設置しています。
- ・硬貨入出金取引の取扱開始。(店舗外ATMを除く)

苦情/相談への姿勢

- ・お客さまからのご意見・ご要望を受け付ける仕組みとして、お客様相談室の設置や全営業店のロビーに「お客様の声ポスト」を設置しています。

●お客様の声ポストへのご意見

「お客さま満足度アンケート調査」とともに、お客さまから、より多くのご意見やご要望をお聞きするため、すべての営業店に「お客様の声ポスト」を設置しています。このポストにご投函いただいたご意見やご要望につきましては、速やかに対応するとともに、その結果を「回答ボード」に掲示しています。

あおしんは、お客さまとの心のキャッチボールを通じて、よりよい金融サービスの提供に努めます。

あおしんと職員

障がい者雇用

障害者雇用促進法に基づき、障がいを持つ職員が健常者と同じ職場で各種業務に従事しています。平成27年3月31日現在では、全職員数に占める障がい者雇用率は2.02%となっており、法定雇用率(2.00%)を上回っています。

高齢者雇用

定年退職を迎えた職員が、定年以降も働き続けることのできる再雇用制度を設けています。この制度は、定年後の職員に働く機会を提供するだけでなく、ベテラン職員の持つ専門知識やノウハウなどを若手職員に蓄積させ、「あおしんらしさ」の伝承にも役立っています。平成27年3月31日現在、この制度を利用し61名が定年後に活躍しています。

正職員への登用

パートタイム労働法の趣旨に沿って、パートタイマーを正職員に登用する「正職員転換制度」を設けており、パートタイマーが能力を一層発揮できるように雇用環境の整備を進めています。平成27年3月31日現在、この制度を利用し10名が正職員として従事しています。

仕事と家庭の両立支援

職員の家庭の事情などに柔軟に対応し、仕事と家庭の両立を支援するため、育児休業制度や短時間勤務制度、介護休業制度などを設けています。これらの制度は平成17年に改正されて以来、多くの職員に利用されています。職員が能力を最大限に発揮し、お客さまや地域に貢献できるようにワーク・ライフ・バランスへの取り組みを充実させています。

クラブ活動

職員が週末を利用し、クラブ活動を盛んにおこなっています。多くのクラブがあり、職員の適度な運動やリフレッシュの場となっています。平成26年度は、サッカー一部が第20回東京都信用金庫サッカー大会で準優勝を果たしました。



サッカー部



野球部



テニス部